FUJITSU

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

※OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。
㋕：カスタムメイド対象製品を示す。

ServerView/ Servervisor/ Intel LANDesk® Server Managerの相違点について

PRIMERGYにはServerView/Servervisor, Intel LANDesk® Server Manager V6.0,の3種類のサーバ監視ソフトが提供されています。
各機能は以下のようになっております。

項目	ServerView	Servervisor	Intel LANDesk® Server Manager V6.0
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール（一部未サポートモデルあり） パフォーマンス監視 （CPU負荷率、PCIバス負荷率など）	サーバ状態監視 異常通知	サーバ状態監視 異常通知 リモートコントロール WindowsNTパフォーマンス監視 （CPU負荷率、メモリ使用率など）
アラート機能 （異常通知方法）	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス（監視対象サーバ上、管理サーバ上） ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス（監視対象サーバ上※） ブロードキャスト	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス（監視対象サーバ上、管理サーバ上） ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
ｻｰﾊﾞｰﾓﾆﾀﾓｼﾞｭｰﾙ(GP5-SM103)ｻﾎﾟｰﾄ	×	×	○
ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽﾎﾞｰﾄﾞ(PG-RSB101)ｻﾎﾟｰﾄ	○	×	×
使用メモリ	16～32MB	6～10MB	32～64MB（サーバ用モジュールのみ）

※Windows2000/WindowsNTのみサポート
※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。
ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。
また、イベントログにて発生を確認することができます。

※Red Hat Linux 7.2 Professional/Red Hat Linux7.3におけるサーバ監視について(Turbolinuxでは使用できません)

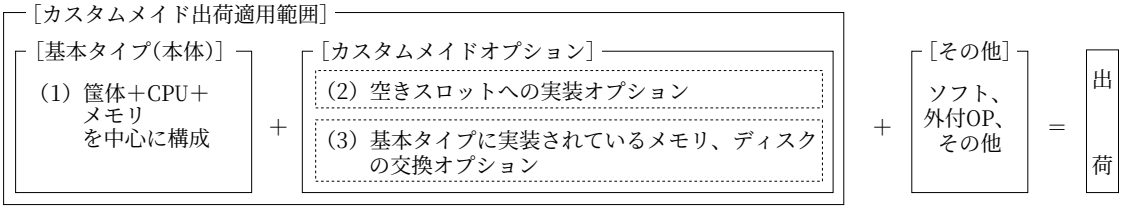
項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 ＊Web Extension使用による	サーバ状態監視 電源投入／切断 スケジュール運転設定 ＊（モデルにより） （CPU負荷率、PCIバス負荷率など）
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽﾎﾞｰﾄﾞ(PG-RSB101)ｻﾎﾟｰﾄ	○	―
使用メモリ	32MB以上	16～32MB

*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

カスタムメイド出荷について

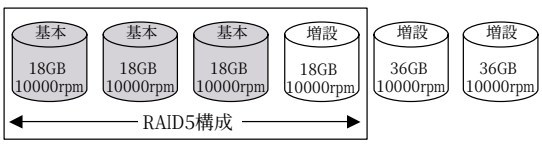
カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ／ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1．カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ（本体）」と「カスタムメイドオプション」から構成されます（下図参照）。それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



2. アレイタイプにおけるオプションHDDのカスタムメイド出荷について（オールインワンタイプを除く）
アレイタイプでオプションHDDを手配した場合、基本HDD、および基本HDDと同一容量／同一回転数／同一型名のオプションHDDはRAID5（Ultra2 Wide SCSIアレイコントローラカードの場合は8台まで）で構成されます。
それ以外のオプションHDDは初期化されておりませんので初期化処理を行ってからご使用ください。

[例]



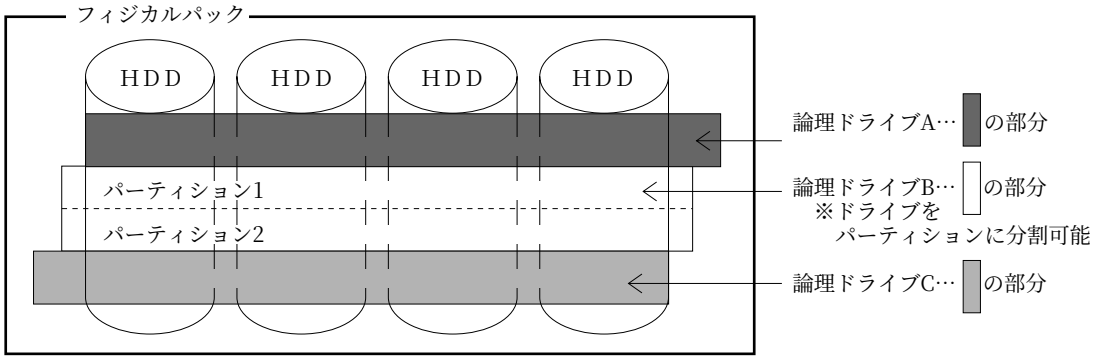
［カスタムメイド適用製品一覧］

（1）基本タイプ（本体）
C150/C200/F200/F250/H250/MS610/H450/N800/T850/L100/L200/P200/P250/N400/R450/BX300の全タイプが対象となります。
(オールインワンタイプ、アプライアンスサーバを除く。)
（2）カスタムメイドオプション：空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションすべてが対象となります。(注：FMVとの共通製品及び、ファイバーチャネルカード（PG-FC103/PG-FC102/GP5-FC102)、暗号プロセッサカード（GP5-CP101)、クラスタキット4（GP5S634)、ISDN接続G3/G4 FAX通信カード（GP5-161）リモートサービスボード（PG-RSB101）を除く)。
（3）Linuxサービスバンドルタイプ
Linuxサービスバンドルタイプは一部オプションのみカスタムメイド対象となります。適用可能オプションは各本体樹系図の「Linuxサービスバンドルタイプのカスタムメイド対応について」を参照下さい。

ハードディスク関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

・フィジカルパック・・・・・１つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
・論理ドライブ・・・・・・・ネットワークOSがドライブとして認識できるドライブ。
・パーティション・・・・・・ネットワークOSで設定する論理ドライブを分割したアクセス論理単位。



＜構成規則について＞

(1) フィジカルパックは必ず同じ型名のハードディスクユニットで構成してください。
(2) 一つの論理ドライブの最大サイズは、GP5-1441/145/146/148/150/1501/PG-141B/142B/142C/143Bの場合、2TBとなります。
各論理ドライブの最大サイズを超えるフィジカルパックを構築した場合、複数の論理ドライブに分割して一つが論理ドライブの最大サイズを超えないように設定して下さい。
PG-141B/142B/142C/GP5-150/1501の場合は、フィジカルパック内に複数の論理ドライブを作成できません。フィジカルパック容量と論理ドライブ容量は常に同一となります。
(3) 一つのフィジカルパックを構成するハードディスクユニットの台数は以下のとおりです。

・RAID0（性能向上のために、データを複数ディスクへ分割して書込む方式）── 2～8台［論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の総和］
・RAID1（信頼性向上のために、ディスクを二重化し同一データを書込む方式）── 2台［論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2］
・RAID5（信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式）── 3～8台［論理ドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数－1)台分］
・RAID6(0+1)（信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式）── 3～8台［論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2］

※GP5-148/150/1501/ PG-142B/142CのRAID0/5/6では、一つのフィジカルパック構成で最大16台までサポート。
GP5-150/1501/ PG-141B/142B/142CのRAID6(0+1)は4～16台で偶数のみ構成可。
※1台のハードディスクでフィジカルパックを構成することはできません。

(4) 一つのフィジカルパックを複数の論理ドライブに分割した場合の各論理ドライブのRAIDレベルは同じものしか設定できません。
(5) 一つのフィジカルパックは必ず、同一のアレイカードにつながるハードディスクで構成してください。
(6) １枚のアレイカードで複数のフィジカルパックを設定することが可能です。但し、ハードディスクユニットは以下の条件を満す必要があります。
・フィジカルパックは同型名のハードディスクで構成する。
・複数のフィジカルパックを同容量のハードディスクで構成する場合は、すべて同型名のハードディスクで構成する。
(7) １枚のアレイカードでRAIDレベルの異なる複数のフィジカルパックを混在させた設定も可能です。
(8) 異なる型名のハードディスクを使用して複数のフィジカルパックを構成し、スペアディスクを設定する場合には各々のフィジカルパックに対して、同型名のスペアディスクを最低1台設定して下さい。

ハードディスクキャビネット／SCSIアレイコントローラカード／SCSIカードの注意

●ハードディスクキャビネット（以下「HDキャビネット」と略す）について
①OSは本体内蔵ハードディスクにインストールすること

●SCSIアレイコントローラカード（以下「アレイカード」）の仕様一覧

●SCSI アレイコントローラカードの仕様一覧

型名	データ転送速度	キャッシュ容量	動作クロック	チャネル数	BBU機能(*1)	適用サーバ															
						T850	N800	H450	MS610	H250	F250	F200	C200	C150	R450	N400	P250	P200	L200	L100	BX300
PG-141B	U160	32MB	100MHz	1ch	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
PG-142B	U160	64MB	100MHz	2ch	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
PG-142C	U160	64MB	100MHz	2ch	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
PG-143B	U2W	64MB	233MHz	3ch	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○*	×	×	×	×	×
PG-144B	U160	128MB	233MHz	4ch	○	×	○*	○	×	○	×	○	×	×	○	○*	×	×	×	×	×
GP5-1441	U2W	64MB	233MHz	3ch	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-145	U2W	16MB	233MHz	2ch	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-146	U2W	16MB	233MHz	2ch	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-147	U160	128MB	233MHz	4ch	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-148	U160	64MB	100MHz	2ch	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-150	U160	64MB	100MHz	2ch	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
GP5-1501	U160	64MB	100MHz	2ch	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(*1)BBU機能：Battery Backup 機能
* 搭載できない 型名があります（各本体仕様を確認してください）。

●アレイカードの混在について

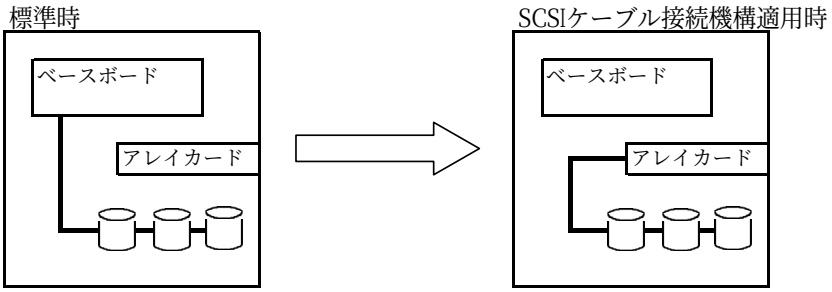
	1441	145	146	147	148	150	1501
GP5-1441	○	○	○	×	×	○	○
GP5-145	○	○	○	×	×	○	○
GP5-146	○	○	○	×	×	○	○
GP5-147	×	×	×	○	○	○	○
GP5-148	×	×	×	○	○	×	×
GP5-150	○	○	○	○	×	○	○
GP5-1501	○	○	○	○	×	○	○

×：混在不可

	141B	142B	142C	143B	144B
PG-141B	○*1	○	○	×	○*2
PG-142B	○	○	○	○	○*2
PG-142C	○	○	○	○	○*2
PG-143B	×	○	○	○	○
PG-144B	○*2	○*2	○*2	○	○

×：混在不可
*1：PG-141Bは内蔵専用アレイカード　(1枚のみサポート)
*2：機種により混在搭載不可。詳細は「アレイカード[PG-144B]について」を参照下さい。

●SCSIケーブル接続機構(PGBCBLS012)について
C200/F200/F250/H250/MS610/H450/T850/N400/R450/P200/P250のディスクレスタイプにアレイカードをカスタムメイドで手配する場合、SCSIケーブル接続機構(PGBCBLS012)が必須となります。
ただし、C150/C200/F200/F250/P200/P250でPGB141Bを手配する際はSCSIケーブル接続機構は不要です。



アレイカードをカスタムメイドで手配しても、SCSIケーブルはオンボードSCSIに接続されています。

SCSIケーブル接続機構を適用するとSCSIケーブルはアレイカードに接続されます。

●アレイカード[GP5-1441／145／146／148]について
①GP5-145／146をMS610で「基本ドライブケージ変換機構」手配時に使用する場合は、アレイカード1枚で外部ディスクアレイと内蔵アレイの同時接続はできません。

●アレイカード[PG-141B]について
①アレイカードは内蔵ディスクアレイにのみ接続可能です。
②アレイカードはサーバ本体1台につき1枚のみ搭載可能です。

●アレイカード[GP5-148]について
①GP5-147/148以外のアレイカードとの混在搭載はできません。
本カードを搭載する場合は、内蔵ディスクアレイ、外部ディスクアレイともに本カードで構成する必要があります。

●アレイカード[PG-141B／142B／142C／GP5-150／1501]について
①以下を制限とします。(制限解除時期：後報)
・Expand Array（フィジカルパックの内容拡張）
②NetWare 5.1環境でご使用の際は、アレイカード監視用にWindows2000／WindowsNT 4.0のクライアントが必要になります。

●アレイカード[PG-144B/GP5-147]について
①GP5-147/PG-144Bに接続されたHDDにOSをインストールする場合は、本体サーバの最大搭載メモリを4GBに制限します。
②PRIMERGY S30接続時にSCSIケーブル(PG-CBLS006)は使用できません。

●アレイカード[PG-144B]について
①ファイバーチャネルカード(PG-FC103)との混在搭載はできません。
②H450/H250/R450ではPG-142B/142Cとの混在搭載はできません。

●アレイカードの接続方法

接続可　：○＝内蔵のみ，●＝外付けのみ，
◎＝1枚のアレイカードで内蔵/外付け同時接続可能，
■＝内蔵/外付け接続可能．但し１枚のアレイカードで内蔵/外付け同時接続不可

接続不可：×

アレイカード		GP5-1441	GP5-145	GP5-146	GP5-147	GP5-148	GP5-150	GP5-1501	PG-141B	PG-142B	PG-142C	PG-143B	PG-144B
C150		×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
C200		×	×	×	×	×	×	×	○	◎	◎	×	×
F200	①	×	×	×	×	×	×	×	○	◎	◎	×	◎
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	◎
F250	①	×	×	×	×	×	×	×	○	◎	◎	×	×
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	×
H250	①	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	◎
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	◎
MS610	①	◎	◎	◎	◎*	◎	■	■	×	×	×	×	×
	②	◎	■	■	◎*	■	■	■	×	×	×	×	×
H450		×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	◎
N800		×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	●
T850		×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	×
BX300		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
L100		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
L200		×	×	×	×	×	×	×	○	●	×	×	×
P200	①	×	×	×	×	×	×	×	○	◎	◎	×	×
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	×
	③	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
P250		×	×	×	×	×	×	×	○	◎	◎	×	×
N400	①	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎
	③	×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	◎	◎
R450		×	×	×	×	×	×	×	×	■	■	×	◎

※GP5-147で内蔵/外付け同時接続時にはスペアディスクの設定は不可

①：「標準搭載ドライブケージ」使用時
②：「基本ドライブケージ変換機構(ハードディスクベイ2チャネル)」使用時
③：「基本ドライブケージ変換機構(5インチデバイスベイ)」使用時

●SCSIカード[GP5-127/PG-126/PG-128]について

①本カード１枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。
②本カード１枚に接続できる外付けSCSI装置の台数は、
（1）HDキャビネットを除く外付けSCSI装置は最大４台までのデイジーチェイン接続が可能です（DATユニット(DDS4)/DATオートチェンジャ(DDS4)は2台まで、DLTライブラリ装置/カートリッジテープ装置はデイジーチェイン接続不可)。

●SCSIカード[PG-129]について

①：本カードは内蔵SCSI装置にのみ接続可能です。
②：本カード1枚にHDDとバックアップ装置を同時に接続することはできません。
その際はカードを分けて接続してください。

●SCSIアレイコントローラカードとサポートOS

SCSIアレイコントローラカードのサポートOSは以下の通りです。
○：サポート、×：未サポート

OS	GP5-144	GP5-145	GP5-146	GP5-147	GP5-148	GP5-150	GP5-150	PG-141B	PG-142B	PG-142C	PG-143B	PG-144B
Windows®2000 Server/ Advanced Server	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WindowsNT®Server4.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WindowsNT®Server4.0 E.E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SBS2000	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
NetWare5/5.1	×	○*1	×	×	×	×	×	○*2	○*2	×	×	×
Open Linux Server 3.1.1	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
Turbolinux Server 6.5	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×
Turbolinux 7 Server	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	×	○	×	×	×	○*3	×	○*3	○*3	×	×	×
Red Hat Linux 7.2 Professional	×	×	×	×	×	×	×	○*3	○*3	×	×	×
Red Hat Linux 7.3	×	×	×	×	×	×	×	○*3	○*3	×	×	×

(*1) NetWare5.1環境でのアレイコントローラカード(GP5-145)の搭載を制限とします。(制限解除時期：後報)
(*2) PG-141B/142B/142CはNetWare5.1のみサポート
(*3) 既にLinuxサービスバンドルモデルをご使用中のお客様が本SCSIアレイコントローラカードを増設される場合、またHDタイプ、ディスクレスタイプでLinuxをご使用のお客様が本SCSIアレイコントローラカードを増設される場合、必要なドライバおよびStorageManagerは PRIMESERVER WORLDよりダウンロードしてください。

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット 型名	チャネル数	C150	C200	F200	F250	H250	MS610	H450	N800	T850	BX300	L100	L200	P200	P250	N400	R450
PRIMERGY S30 (ラックマウント) PG-R1DC6	2	-	1	2	2	4 (*2)	6 (*2)	8 (*3)	9	4	-	-	1	2	2	6 (*1)(*2)	8 (*3)
PRIMERGY S30 (ペディスタル) PG-DC106	2	-	1	2	2	4 (*2)	6 (*2)	8 (*3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 : 以下のN400ではPRIMERGY S30は2台までの接続となりますので注意願います。

<PRIMERGY S30が6台接続不可の本体型名>
PGN4AH1R/PGN4AHRVK/PGN4AHRWK/PGN4AHRVN/PGN4AHRWN/PGN4AH1RG
PGN4AG1R/PGN4AGRVK/PGN4AGRWK/PGN4AGRVN/PGN4AGRWN/PGN4AG1RG

*2 : Linuxで使用する場合は、最大2台までの接続となりますので注意願います。
*3 : Linuxで使用する場合は、最大4台までの接続となりますので注意願います。

S.M.A.R.T機能について

S.M.A.R.T対応

○ :SMART対応, × :SMART未対応, ー :接続できません

接続形態	内蔵ハードディスクユニット																
	IDE		SCSIハードディスク														
	標準搭載IDE	標準搭載IDEアレイコントローラ	標準搭載SCSIアレイコントローラ	SCSIカード		SCSIアレイコントローラカード											
				GP5-127	PG-129	GP5-150	GP5-1501	GP5-148	GP5-147	GP5-146	GP5-145	GP5-1441	PG-141B	PG-142B	PG-142C	PG-143B	PG-144B
C150	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
C200	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-
F200	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	×
F250	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-
H250	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	×
MS610	-	-	○	-	-	×	×	×	×	○	○	○	-	-	-	-	-
H450	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	×
N800	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	×
T850	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
BX300	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L100	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L200	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
P200	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-
P250	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-
N400	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	×	×
R450	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	×

接続形態	ハードディスクキャビネット PG-R1DC6/PG-DC106 SCSIアレイコントローラカード						
	GP5-147	GP5-150	GP5-1501	PG-142B	PG-142C	PG-143B	PG-144B
C150	-	-	-	-	-	-	-
C200	-	-	-	○	○	-	-
F200	-	-	-	○	○	-	×
F250	-	-	-	○	○	-	-
H250	-	-	-	○	○	-	×
MS610	×	○	○	-	-	-	-
H450	-	-	-	○	○	-	×
N800	-	-	-	○	○	-	×
T850	-	-	-	○	○	-	-
BX300	-	-	-	-	-	-	-
L100	-	-	-	-	-	-	-
L200	-	-	-	○	-	-	-
P200	-	-	-	○	○	-	-
P250	-	-	-	○	○	-	-
N400	-	-	-	○	○	×	×
R450	-	-	-	○	○	-	×

注) SMART機能にはIntel LANDesk Server Manager、もしくはServerViewが必要です.
SMART機能はNetWare, Solaris, Linuxでは未サポートです.

SCSI装置(バックアップ)関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ装置	装置型名	規格	記憶容量GB	処理速度MB/S	WindowsNT4.0/NT4.0 EnterpriseEdition				Windows2000 Server/ Advanced Server			BackOffice Small Business Server4.0/4.5		NetWare5/5.1		LINUX				備考
					NTBACKUP	ARCserve for WindowsNT	ARCserve IT for Windows NT	ARCserve2000	NTBACKUP	ARCserve IT for Windows NT	ARCserve 2000	NTBACKUP	ARCserve Storage Suite（注）	SBACKUP	ARCserve IT for NetWare(注)	BRU(注)	NetVault6 Turbolinux OEM版	NetVault 6.5 Turbolinux Edition	ARCserve IT6.61 for Linux(注)	
EDT装置	GP5-NS202	EDT20	10	1.0	○	○ J6.5L20以降	○ 6.61L10以降	○	○	○ 6.61L30	○	○	○ J6.5L10以降	×	×	×	×	×	×	
1/4ｲﾝﾁ CRMT装置	GP5-SL501	SLR-5	4	0.4	○ 装置添付ﾄﾞﾗｲﾊﾞ使用	○ J6.5L20以降	○ 6.61L10以降	○	○	○ 6.61L30	○	○ 装置添付ﾄﾞﾗｲﾊﾞ使用	○ J6.5L10以降	○	×	○	×	×	○	高信頼性が必要な基幹業務に適している
	GP5-ML301	MLR3	25	2.0					○(注)											
	PG-ML301	SLR50(MLR3)	25	2.0					後報							×				
	PG-SL601	SLR60	30	4.0		×	×		○ 装置添付ﾄﾞﾗｲﾊﾞ使用	×			×	×					×	
	PG-SL101	SLR100	50	5.0													○	○	○(注)	
DLT装置	GP5-DL201/PG-DL201 GP-DL201 GP-DL202	DLT4000	20	1.5	○	○ J6.0L20以降	○ 6.61L10以降	○	○	○ 6.61L30	○	○	○ J6.5L10以降	○	○ 6.6L10	○	×	×	○	
	GP5-DL351/PG-DL351 GP-DL351	DLT7000	35	5.0	×	○ J6.0L20以降	○ 6.61L10以降	○	×	○ 6.61L30	○	×	○ J6.5L10以降	×	○ 6.6L10	○	×	×	○	
	PG-DL401/PGSDL401	DLT8000	40	6.0	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○ 6.6L10	×	○	○	○	
	GP-DLL201	DLT4000 ﾗｲﾌﾞﾗﾘ	160	1.5	×	○ J6.5L20以降＋Tape Library Option J3.0	○ 6.61L10以降	○	×	○ 6.61L30 (注)	○	×	○ J6.5L10以降＋Tape Library	×	○ 6.6＋Tape Library Option 6.6 for NetWare	×	×	×	×	自動ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ処理可能
	GP-DLL352	DLT7000 ﾗｲﾌﾞﾗﾘ	280	5.0																
	GP-DLL353		700	5.0		×	○ 6.61L10以降(注)	○(注)			○(注)		×		×					
	PG-DLL401	DLT8000ﾗｲﾌﾞﾗﾘ	360	6.0		×	×	○		×	○		×		×				○（注）	
	PG-DLL402		800	6.0															×	
LTO装置	PG-LT101	LTO（Ultrium1）	100	7.5	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
	PGSLT101			15																
	PG-LTL101	LTO（Ultrium1）ﾗｲﾌﾞﾗﾘ	900	15																
	LT12xxxx	LTO（Ultrium1）ﾗｲﾌﾞﾗﾘ	4000～16000	15	×	×	×	○(注)	×	×	○(注)	×	×	×	×	×	×	×	×	
DAT装置	GP5-DT201 GP5-DT202 GP5SDT201	DDS2	4	0.5	○	○ J6.0L10以降	○ 6.61L10以降	○	○	○ 6.61L30	○	○	○ J6.5L10以降	○	○ 6.6L10	×	×	×	×	定期的なｸﾘｰﾆﾝｸﾞ必須
	GP5-DT301/PG-DT301 GP5SDT301	DDS3	12	1.0	○	○ J6.0L20以降	○ 6.61L10以降	○	○	○ 6.61L30	○	○	○ J6.5L10以降	○	○ 6.6L10	○	○	○	○	
	PG-DT401 GP5-DT401 GP5SDT401	DDS4	20	3.0	○ Server Start ○ 装置添付ﾄﾞﾗｲﾊﾞ使用	×	○ 6.61L20以降	○	○	○ 6.61L30	○	○(注)	×	○	○ 6.6L10	○	○	○	○	
	GP5-DTA101/PG-DTA101	DDS3 ｵｰﾄﾁｪﾝｼﾞｬ	72	1.0	×	×	○ 6.61L10以降	○	×	○ 6.61L30 (注)	○	×	×	○	×	×	×	×	×	自動ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ処理可能
	GP5SDTA101					○ J6.0L20以降＋Changer Option J2.0以降							○ J6.5L10以降＋Tape Library Option J3.0		○ 6.6＋Tape Library Option 6.6 for NetWare					
	GP5-DTA102/PG-DTA102	DDS4 ｵｰﾄﾁｪﾝｼﾞｬ	120	3.0	×	×	○ 6.61L20以降	○	×		○	×	×	×	×	×	×	×	○	
	GP5SDTA102														○ 6.6＋Tape Library Option 6.6 for NetWare					

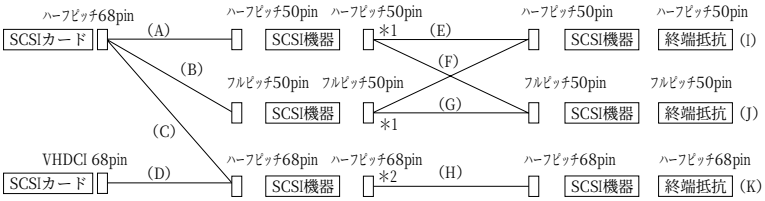
※ARCserveはNT4.0 Enterprise Editionに同梱されるMicrosoft Cluster Serverには未対応
※記録容量/処理速度は非圧縮時の値。
※Back Office Small Business Server 4.5では、ARC serve Storage Suiteは動作しません。
※WindowsNTで、ARCservelTからGP-DLL353を使用する場合は、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ･ｱｿｼｴｲﾂ社のHP(http://www.caj.co.jp)より提供されるﾃﾞﾊﾞｲｽﾊﾟｯﾁﾓｼﾞｭｰﾙ(Patch03)を適用すること。
※GP-DLL353にGP-DLL001またはGP-DLL002を増設する場合、Tape Library Optionが必要です。
※GP-DLL353にGP-DLL003を接続する場合、ARCservelT Enterprise Library Option または ARCserve2000 Storage Area Network Option が必要です。
※Windows2000で、NT BackupからGP5-ML301を使用する場合、弊社のHP（http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/granpower/gp5/seihin/index.html）
より提供されるデバイスドライバを使用すること。（公開中）
※Windows2000で、ARCservelTからﾃｰﾌﾟﾗｲﾌﾞﾗﾘ装置/DATｵｰﾄﾁｪﾝｼﾞｬ装置を使用する場合は、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ･ｱｿｼｴｲﾂ社のHP(http://www.caj.co.jp)より
提供されるﾃﾞﾊﾞｲｽﾊﾟｯﾁﾓｼﾞｭｰﾙ(Patch01)を適用すること。
※NT Backupでバックアップした場合、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCserveの使用をお勧めします。
※Netware5.1においては、ARCservelTは動作できません。SBACKUPのみでのサポートとなります。
※BRUのサポートOSは、Turbo Linux Server日本語版6.1のみ。ARCserve IT for LinuxのサポートOSは、TurboLinux Server日本語版6.1, RED HAT LINUX 7 J PROFESSIONAL SERVER、Open Linux eServer2.3 日本語版のみです。
NetVault6 Turbolinux OEM版のサポートOSはTurbolinux Server6.5のみとなります。NetVault6.5 Turbolinux EditonはTurbolinux7 Serverのみとなります。
※ARCservelT 6.61 for LinuxでPG-SL101及びPG-DLL401をご使用する場合には、コンピュータ・アソシエイツ社のHP(http://support.ca.com/Download/patches/asitux/LO96843.html)より
提供されるデバイスパッチモジュール(LO96843)を適用する必要があります。
※LT12xxxxを複数ドライブ構成で使用する場合はTape Library Optionが必要です。FCモデルを使用する場合は、Storage Area Network (SAN) Optionが必要です。
※BrightStor ARCserve2000については「ARCserve2000」の項を参照して下さい。
※NetVault 6.5 Caldera Editionについては「NetVault 6.5 Turbolinux Edition」の項を参照して下さい。

SCSI機器の接続について

1. SCSIケーブル/終端抵抗について

外付けSCSI機器を接続する場合、SCSIカード／SCSI機器のコネクタの形状により使用するSCSIケーブル／終端抵抗が異なりますのでご注意ください。

・ハードディスクキャビネット、ディスクアレイ装置の接続については、各構成図を参照してください。
・カートリッジテープ装置については、各構成図を参照してください。



＊1：ハーフピッチ50pinもしくはフルピッチ50pinのSCSI機器に、ハーフピッチ68pinのSCSI機器をデイジーチェーン接続することはできません。
＊2：ハーフピッチ68pinのSCSI機器に、ハーフピッチ50pinもしくはフルピッチ50pinのSCSI機器をデイジーチェーン接続することはできません。

	品　名	型　名	コネクタ	線　長
(A)	SCSIケーブル	GP5-833	ハーフ68pin-ハーフ50pin	1m
(B)	SCSIケーブル	GP5-832	ハーフ68pin-フル50pin	1m
(C)	――――	SCSI機器添付	ハーフ68pin-ハーフ68pin	
(D)	SCSIケーブル	GP5-846	VHDCI68pin-ハーフ68pin	2m
(E)	SCSIケーブル	FMV-CBL832	ハーフ50pin-ハーフ50pin	1m
(F)	SCSIケーブル	FMS-834 FMV-CBL831	フル50pin-ハーフ50pin フル50pin-ハーフ50pin	1m 2m
(G)	SCSIケーブル	FMB-CBL831 FMB-CBL832	フル50pin-フル50pin フル50pin-フル50pin	1m 2m
(H)	――――	SCSI機器添付	ハーフ68pin-ハーフ68pin	
(I)	終端抵抗	FMV-695	ハーフ50pin	
(J)	終端抵抗	FMV-692	フル50pin	
(K)	――――	SCSI機器添付	ハーフ68pin	

2. SCSI機器の接続台数について

（1）SCSI-2対応装置を接続する場合
外付けSCSI機器は最大4台までデイジーチェーン接続可能（ケーブル長は合計5m以下とする）
（2）UltraSCSI対応装置を接続する場合
外付けSCSI機器は最大2台までデイジーチェーン接続可能（ケーブル長は合計2m以下とする）
※同一のSCSIカードに対して、外付けSCSI機器と内蔵SCSI機器とを同時に接続することを禁止する。
※DLTライブラリ装置はデイジーチェーン接続不可。
※FMV-CBL831およびFMB-CBL832（SCSIケーブル、2m）を使用する場合は、SCSI機器を2台接続したとみなし、接続できるSCSI機器の台数は少なくなります。

Linux関連事項

Linuxシステムにおけるバックアップソフト

Linuxにおいてバックアップ装置をご使用になる際には、以下のソフトウェアがご使用いただけます。

ディストリビューション	単体バックアップ装置	ライブラリ系バックアップ装置
Turbolinux Server6.5	NetVault6 Turbolinux OEM版	―
Turbolinux 7 Server	NetVault 6.5 Turbolinux Edition	―
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	ARCServeIT 6.61 for Linux	ARCServeIT 6.61 for Linux
Red Hat Linux 7.2 Professional	―	―
Red Hat Linux 7.3	―	―
OpenLinux Server 3.1.1	NetVault 6.5 Caldera Edition	―

※ライブラリ系のバックアップ装置のサポートについては、ARCServeIT 6.61 for Linux が必須。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載について

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量が以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量
Turbolinux Server6.5	4GB
Turbolinux 7 Server	64GB
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	1GB
Red Hat Linux 7.2 Professional	64GB
Red Hat Linux 7.3	64GB
OpenLinux Server 3.1.1	64GB

※実際に搭載できるメモリ容量は、サーバ本体の最大搭載メモリ容量に依存します。
またメモリ容量によって使用するカーネルが異なる場合がありますので注意願います。
詳細は各ディストリビューションのリリースノートを参照してください。

ディスクレスタイプ/HDタイプのサポートについて

ディスクレスタイプ/HDタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/linux)を参照下さい。
また、サポートを必要とされるお客様につきましては、別途SupportDeskを契約して下さい。

サポート対象ディストリビューション(※)
- Turbolinux 7 Server
- Red Hat Linux 7.2 Professional
- Red Hat Linux 7.3
- OpenLinux Server 3.1.1

※サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

製品サポートサービス「Support Desk Product」ご紹介

本システム構成図に掲載されているハードウェアおよびソフトウェアの製品サポートについては、以下の運用サービスを提供しております。
システムの安定稼動の実現のため、本サービスをぜひご利用下さい。

1.サービス概要

ハードウェアのオンサイト点検/修理とソフトウェアのトラブル/Q&AをOpensystem Support Center（略称：OSC）の専門スタッフが受け付け、トラブルを迅速に解決します。
さらにインターネットを活用したハードウェアの24時間監視や、お客様専用ホームページによる運用ノウハウの提供など、充実したサービス内容でシステムの安定稼動を実現します。

2.サービス体系

- Support Desk
  - Product
    - 基本/基本24サービス
      - ①サーバのハードウェア障害の予兆監視（e-mail）
      - ②ハードウェアの定期点検・オンサイト修理
      - ③電話によるQ&A・トラブル対応
      - ④Webによる情報提供（運用ノウハウ、サービス対応月報　など）
    - オプションサービス
      - マルチベンダコール代行　［他社パソコン(クライアント)/プリンタの障害時の他社コール代行］
      - ＳＥオンサイト復旧　［トラブル対処(業務復旧)時のSEによるオンサイトサポート］
      - ＰＣソフトサポート　［FMVシリーズ本体/CELSIUS本体にインストールされるソフトウェアのサポート］
  - Management　システム全体の運用管理支援を実施

3.サービスに関するお問い合せ先

富士通株式会社　システムサポート本部　販売推進部
TEL.（03）5479-7781
FAX.（03）5479-7791